

漁港施設補修設計研修会プログラム（実務・実践研修）

——実務実践研修で実務経験をプラスする——

講師：内藤輝氏
・所属：ポートコンサルタント株式会社 技術部長
・資格：技術士（建設部門：港湾及び空港）、一級土木施工管理技士、コンクリート診断士、コンクリート構造診断士、一級構造物診断士、土木鋼構造診断士、コンクリート電気防食管理技術者
・実績：漁港施設の機能保全計画書作成、港湾・漁港施設の劣化調査・補修設計
・表彰：港湾施設の補修設計（事務所長表彰）、歴史的建造物の調査設計（事務所長表彰）

[6/25]

1. 概説 10:30～12:00

- 漁港施設の特徴（漁港施設の種類、建設の経緯、管理形態、港湾施設との違い等）
- 漁港施設の劣化・損傷の特徴（コンクリート塩害、鋼材腐食、波浪による損傷、漂砂等）
- 機能保全計画書の概要（現況調査、機能診断、保全対策等の概要）
- スtockマネジメントの考え方（予防保全、LCC、コストの平滑化等）

2. 漁港施設の機能診断の考え方 13:00～14:50

- 矢板式係船岸（矢板式の鋼材腐食が懸念される場合の調査及び機能診断）
- 重力式防波堤（ケーソンに損傷が懸念される場合の調査及び機能診断）
- 護岸（護岸に土砂流出が懸念される場合の調査及び機能診断）
- 航路・泊地（沿岸漂砂によって航路、泊地の埋没が懸念される場合の機能診断（漂砂シミュレーション））

3. 漁港施設の保全対策の考え方 15:00～16:50

- 矢板式係船岸（矢板式の鋼材腐食によって貫通孔が生じた場合の保全対策）
- 重力式防波堤（ケーソンに損傷があった場合の保全対策）
- 護岸（護岸に土砂流出が生じた場合の保全対策）
- 航路・泊地（沿岸漂砂によって航路、泊地の埋没される場合の保全対策）



[6/26]

4. 漁港補修設計 9:30～11:00

- 矢板式係留施設の事例（矢板式の鋼材腐食によって貫通孔が生じた事例）
- 検討方法及び補修工法の選定（腐食矢板のモデル化、構造解析の方法、鋼板溶接工法、鉄筋コンクリート被覆工法等）
- 施工計画と概算工事費（施工方法等）

5. 演習（4. の事例の補修設計） 11:10～16:30（12:00～13:00：昼食休憩、午後30分適宜休憩）

- 基礎資料、写真等の配付
- グループ討議
- 設計結果発表と質疑応答
- 漁港補修設計に関するQ&A

事前にQ（質問）のアンケートを実施いたします。